

前橋文学館企画展「春は文学館で きゅん。」及び 第46回朔太郎忌「虹を追ふひと」を開催します

【前橋文学館企画展「春は文学館で きゅん。」

詩はころをどのように描いたか／寺山修司のラブレター・私が出会った表現者たちⅠ】

1 会期・会場

4月14日（土）～7月10日（火）9時～17時（水曜休館）文学館・2階展示室他

2 観覧料

常設展と併せて一般400円、高校生以下無料。（3階のみ）観覧無料

3 趣旨

近代詩から現代詩までの詩人、萩原朔太郎ら前橋の詩人たちや茨木のり子、谷川俊太郎、辻征夫など作品を取り上げて、詩で心をどのように表現してきたかを詩集、原稿等から紹介します。

あわせて、萩原朔美文学館長が出会った表現者たちを取り上げる展示の第1弾として、多方面で活躍し「言葉の錬金術師」の異名をとる寺山修司が妻となる九條映子（松竹歌劇団所属、女優）宛に綴ったラブレター等を展示紹介します。

4 内容のあらまし

(1) 2階展示（約40点）

萩原朔太郎自筆ノート「習作集第八巻」＜復刻＞、萩原朔太郎自筆歌集『ソライロノハナ』＜復刻＞ほか

(2) 3階展示（約50点）

寺山修司のラブレター等（手紙・写真）

(3) 1階展示（約10点）

天井桟敷時代に萩原朔美館長が、俳優、演出等がかかわったポスターを展示し、写真スポットも設置

(4) 学芸員によるギャラリートーク（2階展示）

4月21日（土）、5月20日（日）、6月17日（日）、7月7日（土） 13:30～14:30

5 関連イベント（定員は各100名）

(1) ポエムリーディング 6月9日（土）14:00～15:30 文学館ホール

出演者：新井隆人（詩人）、奈良のりえ（アナウンサー）、長井学（ピアノ）、
第14回群馬県高校放送コンクール入選者4人

(2) 対談「我らの寺山修司体験」6月16日（土）同上

出演者：安藤紘平×萩原朔美

(3) リーディングシアター 寺山修司作「青森県のせむし男」6月23日（土）同上

出演者：篠井英輔（俳優）、手島実優（女優）、萩原朔美（館長）他

【第46回朔太郎忌「虹を追ふひと」】

1 日時・会場

5月12日（土）14時～16時30分 昌賢学園まえばしホール 小ホール

2 趣旨

萩原朔太郎の命日である5月11日に最も近い第二土曜日に開催し、萩原朔太郎を偲ぶとともに、作品が持つ魅力と価値について考えを深め、文化の向上に寄与する。

3 主催

朔太郎忌実行委員会

4 共催

前橋市、前橋市まちづくり公社、朔太郎研究会、前橋文学館友の会

5 内容

(1) 第一部 シンポジウム「萩原朔太郎をいま、読み直す」

松浦寿輝氏（朔太郎研究会会長、詩人、小説家、フランス文学者）

高橋睦郎氏（詩人）

星野 太氏（美学者・金沢美術工芸大学講師）

(2) 第二部 朗読劇「ただ港だけが故郷だ」

堀内正美氏（俳優）、柳沢三千代氏（声優）、斉藤佑介氏（俳優）、手島実優氏（地元出身女優）、萩原朔美館長

6 チケット

500円で販売、定員600名

販売箇所：前橋文学館、煥乎堂、昌賢学園まえばしホール（販売は4月20日からで現在は文学館で予約受付中）

7 その他

二部の朗読劇は、萩原朔太郎の詩劇風作品「天に怒る」から朔太郎研究会会員で文学研究者の栗原飛宇馬氏が書き下ろしたもので初演となります。

【担当】

前橋文学館

電話：027-235-8011